

研究課題名	非感染性ぶどう膜炎に対する免疫抑制剤の効果に対する研究
研究期間	実施許可日～2030年3月31日
研究の対象	実施許可日～2029年9月30日の間に広島大学病院眼科ぶどう膜炎外来を受診した非感染性ぶどう膜炎、強膜炎患者でステロイド以外の免疫抑制剤で治療をされた方。
研究の目的・方法	<p>研究目的：ぶどう膜炎や強膜炎は視力低下や眼痛を伴う病気で、重症例では失明につながることもあります。炎症を抑えるために我が国はステロイドを長期間投与する傾向があり、諸外国で一般的な免疫抑制剤の使用があまり一般的ではありません。広島大学ぶどう膜炎外来では長期のステロイド投与をできるだけ避けるため免疫抑制剤の使用を積極的に試みています。そこで免疫抑制剤を使用された患者さんの症状がどのように変化したか評価することは臨床的に意義があると考え本研究の目的とします。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して免疫抑制剤の効果を評価します</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：あなたの診療情報（病型、眼科疾患既往歴、眼科手術歴、使用した免疫抑制剤：視力・眼底検査結果）を用います (個人が特定される情報は使用しません)
外部への試料・情報の提供	広島大学単独の研究のため、外部への提供は行いません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2017年6月22日）より使用しています。
個人情報の保護	<p>この研究で得られた情報は、あなたを特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は記載せず取りまとめられます。そして、この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることがありますが、いずれの場合もあなたの名前等の個人的な情報は一切公表されませんのであなたの個人情報は守られます。</p> <p>また電子カルテから抽出した情報は、広島大学病院眼科医局にあるパスワードでロックされたPCに対象者を識別できないように個人情報を加工した状態で保存します。そして本研究終了5年後、すべての情報を破棄します。</p>
研究組織	本学の研究責任者 広島大学医系科学研究科 視覚病態学 教授 坂口 裕和
その他	<ol style="list-style-type: none"> この研究は広島大学医学研究倫理審査委員会において、倫理的及び医学的妥当性の観点から審査を受け、承認されており、広島大学担当理事の許可を得て実施されています。 研究の資金源は広島大学「運営費交付金」を用いて実施します。利害

	の衝突に関しては、本学の利益相反管理委員会で審査を受けています。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。</p> <p>なお、お申し出による不利益が生じることはあります。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、研究結果については、現時点では、この研究結果等があなたの健康状態を評価するための情報として、その精度や確実性が十分ではないため、個々の結果の説明は行いませんが、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 眼科 担当者：原田 陽介 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話：082-254-5247（直通）</p>